

■板垣退助 土佐藩士。新政府内で対立して下野，自由民権運動をリードして政党政治の先駆となるも，竜頭蛇尾に。

いたがきたいすけ

大塩平八郎乱1837＝ 土佐藩士馬廻格の子として高知城下中島町で生まれた。

阿部正弘首座1845＝ 8歳：

孝明天皇・・・1846＝ 9歳：

ペリー来航・1853＝16歳：

安政大地震・1855＝18歳：勤番をもって，初めて江戸に出る。

松下村塾・・・1856＝19歳：帰藩。

桜田門外変・1860＝23歳：免奉行，

遣欧使節・・・1861＝24歳：江戸藩邸詰に抜擢され，

生麦事件・・・1862＝25歳：ついで山内容堂の側用役として，藩邸総裁を命じられ，

8月18日政変 1863＝26歳：容堂に従って上京後，帰藩。上・下士の暗闘の中，上士派の巨頭ながら下士派とも通じ，

禁門の変・・・1864＝27歳：大監察となったが，

薩摩藩士密航1865＝28歳：辞任して出府，専ら兵学を学び，藩の大勢と異なり討幕運動を推進。

大政奉還・・・1867＝30歳：鹿児島藩士小松帯刀らと京都で会見，討幕挙兵を盟約。

明治維新・・・1868＝31歳：戊辰戦争に東山道先鋒総督府参謀として従軍し，会津攻略を指揮して，

維新後は，藩の大参事を経て，

廃藩置県・・・1871＝34歳：政府首脳人事更迭に伴い，新政府の参議に就任したが，

明治6年政変 1873＝36歳：\*征韓論をめぐって大久保利通らと対立し，西郷隆盛らとともに辞職。

佐賀の乱・・・1874＝37歳：\*ともに下野した江藤新平，後藤象二郎，副島種臣らと民撰議院設立建白書を政府に提出し，自由民権運動展開の契機をつくった。帰郷して立志社を結成。

初の民間工場1875＝38歳：大阪会議の結果一時参議に復帰したが，ほどなく辞職。

大久保暗殺・1878＝41歳：立志社が中心となって愛国社を再興し，国会の開設を求める自由民権運動を推進した。

明治14年政変1881＝44歳：自由党の結成にあたって総理に推され，

新体詩抄・・・1882＝45歳：\*遊説途中の岐阜で刺客に襲われ負傷。このとき'板垣死すとも自由は死せず'と叫んだエピソードは，彼の経歴中最も輝かしい時期の象徴である。一部党員の反対をおしきってヨーロッパ諸国を外遊。その経費は自由民権運動の弱体化をねらう政府筋から出されたといわれる。ユーゴーから政治小説の効用を教えられ，

岩倉具視没・1883＝46歳：帰国するや自由党の解党を提起。反対され一時保留したが，党財政の窮乏化と党員の急進化がすみ，

秩父事件・・・1884＝47歳：党幹部は解党を決定。

国民之友始・1887＝50歳：再三辞退したが認められず伯爵となる

帝国憲法発布1889＝52歳：

帝国議会始・1890＝53歳：立憲自由党に参加し，

足尾鉍毒始・1891＝54歳：一時離党したが復党して，党名を自由党と改称した際，総理となった。

日清戦争始・1894＝57歳：

日清戦争終・1895＝58歳：自由党は第2次伊藤博文内閣と提携し，

白馬会・・・1896＝59歳：同内閣の内務大臣にむかえられた。

子規句歌革新1898＝61歳：自由・進歩両党の合同により憲政党が結成され，同党を基礎として第1次大隈重信内閣が成立すると，これに内務大臣として入閣した(隈板内閣)。しかし，党内対立のため内閣はわずか4ヵ月で総辞職。

ビ7ノ国産化・1900＝63歳：憲政党の解党，立憲政友会の結成を契機として\*政界を引退し，

以後社会事業にとり組んだ。

日露戦争始・1904＝67歳：雑誌「友愛」を発刊，

日露戦争終・1905＝68歳：

満鉄発足・・・1906＝69歳：「自由党史」を監修公刊。

伊藤博文暗殺1909＝72歳：

大逆事件判決1911＝74歳：雑誌「社会政策」を発刊，

第一次大戦始1914＝77歳：融和事業を目的に結成された帝国公道会の会長を務めるなどしたが，

名利を求めず，権謀術数を用いない性格から，輝かしい前半生に比べて寂しい晩年であった。

本格政党内閣1918＝81歳：

ベルサイユ条約・1919＝82歳：没した。

「日本史を変えた人物200人」，「この人どんな人」，「没年日本史人物事典」，「日本の群像」，平凡社百科事典，山田風太郎「人間臨終図巻」，「目でみる日本人物百科」，